

整形外科外来だより

No 8 2006/09/01 けいゆう病院 整形外科 発行

◆新しい先生が来ました◆

7月から整形外科には保坂聖一先生が赴任されました。前は佐野厚生病院に勤務されておりました。専門は腫瘍の手術ですが、腫瘍以外もOKです。大変やさしい、良い先生ですので鎌田、千葉、森山、小野、市原ともども宜しくお願い致します。

◆ブロック注射 ◆

「ブロック注射はなんで効くの？」とよく聞かれます。

当院の整形外科には腰の悪い患者さんがたくさんいらっしゃいます。腰が悪いとよく足が痛くなったり、しびれたりします。これは皆さんご存じの坐骨神経痛が原因です。坐骨神経痛は大変つらいのでこれを治すためにブロック注射をします。ではなぜブロック注射は効くのでしょうか？本当の効果は実はよく分かっていないのです。ただ、リウマチなどの関節炎の痛みと基本的には同じ原因と言われていて、痛みを誘発する発痛物質が椎間板ヘルニア等から神経に向けて放出されて痛くなるのではないかと考えられています。ブロック注射はこの発痛物質を洗い流す作用があり、鎮痛効果があるといわれています。

ブロック注射には2種類あり、外来で簡単にできるのが仙骨ブロックです。仙骨ブロックは、うつ伏せ姿勢で尾底骨の真中にあいた小さな骨の穴から薬を腰の神経の周りに注入してあげる注射です。注射の後は足がしびれることがあるので15分ぐらい安静にしてもらっています。注入する薬は局所麻酔の薬です。麻酔薬にアレルギーのある方は出来ません。ブロックの効果は50%ぐらいです。1週間以上間をあければ何回か続けてすることも可能です。これ1回で治ってしまう患者さんもたくさんいます。坐骨神経痛の方に教えてあげてください。

もう1種類は神経根ブロックといって、仙骨ブロックが効かない患者さんに行います。3階のレントゲン室でレントゲンを見ながら神経に直接注射するので、少し痛いですが、神経にあたったら、1ccほど造影剤を注入して神経に正しく当たっているか、神経痛の原因はどこにあるのかなど所見を調べます。最後にやはり局所麻酔薬を注入します。このブロックの効果は45%ぐらいです。仙骨ブロックの効かない方に行いますので効果は低いですが、切れ味は抜群です。ブロックの後はかなり足がしびれますので1時間ぐらい休んでいただきます。

もし、神経根ブロックでも治らない場合は、手術を考えたほうがよいでしょう。(文責 鎌田修博)